

各 位

会 社 名 株式会社三ツ星
 代 表 者 代表取締役社長 塚本 聡一郎
 (J A S D A Q ・ コード 5 8 2 0)
 問 合 せ 先 執行役員経理部長 金城 安弘
 電 話 番 号 0 6 - 6 7 6 2 - 6 9 3 9

第 2 四半期累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成27年5月8日に公表しました平成28年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成28年3月期第2四半期（累計）連結業績予想と実績との差異 （平成27年4月1日～平成27年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,628	百万円 58	百万円 54	百万円 45	円 銭 7.88
今回実績値 (B)	4,785	90	87	64	11.25
増減額 (B-A)	157	32	33	19	—
増減率 (%)	3.4	55.2	61.1	42.2	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	4,627	69	49	39	6.90

2. 平成28年3月期第2四半期（累計）個別業績予想と実績との差異 （平成27年4月1日～平成27年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,157	百万円 48	百万円 48	百万円 44	円 銭 7.70
今回実績値 (B)	4,341	94	110	88	15.54
増減額 (B-A)	184	46	62	44	—
増減率 (%)	4.4	95.8	129.2	100.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	4,124	61	63	54	9.55

3. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出・生産面に新興国経済の減速の影響がみられるものの、緩やかな回復が続いています。

個人消費は、総じてみれば底堅い動きとなっているものの、消費者マインドは持ち直しに足踏みがみられます。

このような状況の中、電線事業の主要な市場である建設・電販向けの売上は、設備投資の増加を背景に、ゴム電線、プラスチック電線共に前年比増加基調で推移したことなどから前年を上回る結果となりました。

通期の業績予想につきましては、景気の先行きや需要動向に不確定要因が残るため、平成27年5月8日に公表いたしました予想を据え置くことといたします。また、平成27年8月26日に公表いたしました子会社の解散に伴う業績に与える影響につきましても引き続き精査中であり、今後の業績の推移により修正の必要性が生じた場合には、速やかに公表いたします。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上